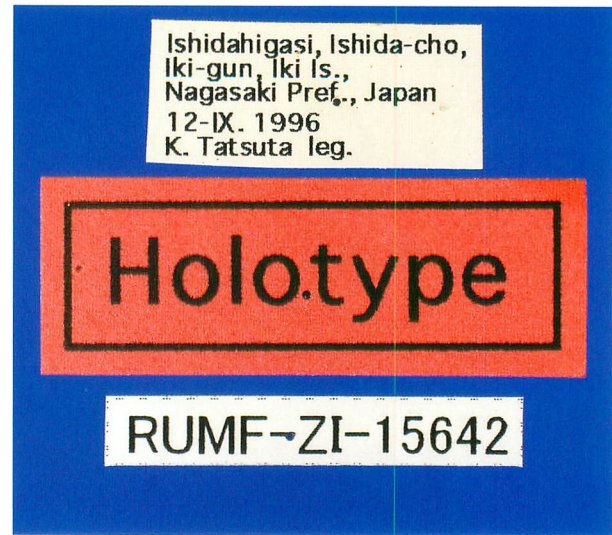
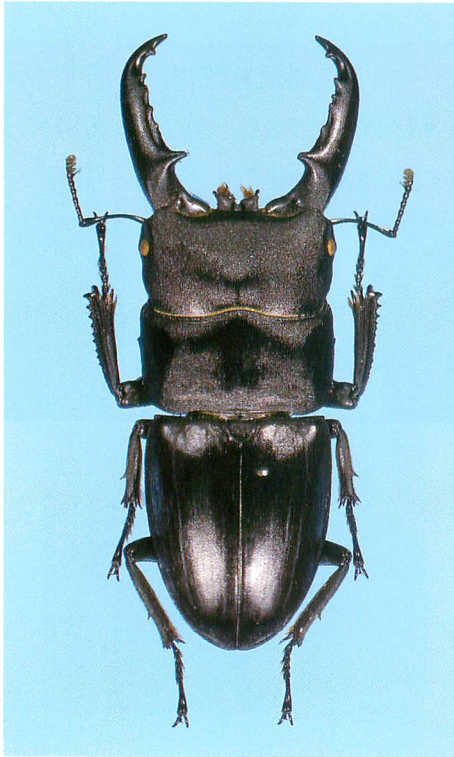


# 琉球大学学術リポジトリ

[和名] イキヒラタクワガタ [学名] *Dorcus titanus*  
tatsutai Shiokawa, 2001

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学資料館 (風樹館) 公開日: 2009-10-16 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 長田, 勝 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/12659">http://hdl.handle.net/20.500.12000/12659</a>

## イキヒラタクワガタ

*Dorcus titanus tatsutai* Shiokawa, 2001

Holotype (RUMF-ZI-15642)

原記載：塩川太郎, 2001. 長崎県壱岐産ヒラタクワガタの1新亜種. 月刊むし, 360: 6-8.

## タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-15642	Holotype	日本長崎県壱岐郡石田町石田東触	1996/09/12	龍田記美雄	♂	乾燥

ヒラタクワガタは、本州、四国、九州（いずれも周辺島嶼を含む）から琉球列島に分布するが、特に島嶼での分化が著しく、多くの亜種に分類されている。イキヒラタクワガタは、長崎県壱岐諸島（壱岐、長島、大島）に産する個体群で、大顎は前方に長く伸び、近隣の対馬に生息するツシマヒラタクワガタに似ているがやや細く、第1内歯がツシマヒラタより前方に位置するのが特徴である。ツシマヒラタ同様、大型の個体が多い。

種 *titanus* は、東南アジアから日本に至る広大な地域に分布しており、亜種同士を交配させると容易に交雑個体ができる。したがって、国内産の他地域の個体はもとより、外国産の個体を野外に放虫する行為は遺伝的攪乱を引き起こすことになるので、厳に慎まなければならない。

(長田 勝)